

# リーブラ便り

2013年1月号 VOL. 42



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. リーブラ男女平等川柳 結果発表!!!
  2. リーブラ・フェスティバル2013 開催間近
  3. 講座開催案内（リーブラ主催講座）
  4. 講座実施報告（リーブラ主催講座・活動助成・団体育成事業）
  5. 男女共同参画週間記念フォーラム2013
  6. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り
  7. 男女平等参画情報
- ★別紙 1月の新着図書ご紹介

## 1. リーブラ男女平等川柳 結果発表!!!

10月より募集を呼びかけた「リーブラ男女平等川柳」。今年は、全国から21名、合計60点の応募がありました。昨年に比べると、応募件数は減ったものの、男女平等参画を実践している姿が思い浮かぶ川柳も、多くありました。家事・育児をする男性をうたった川柳、夫婦とともに家事育児をとりくむ川柳などです。また、仕事に家事に育児にと負担をこなす女性の現状をうたった川柳など、現代女性が置かれた立場への想いが込められた作品もありました。

リーブラフェスティバル2013にて、  
授賞式を開催!!!

入選作の解説とともに、受賞者への記念品の授与、受賞者からのコメントなどがあります。みなさん、ぜひご参加ください。

- 日時：2月9日（土） 18時
- 場所：リーブラ ・ 5階ホール

◎最優秀賞  
共に家事 共に働き 共白髪  
琴音翼

○優秀賞  
・「輪番制」職場じゃなくて 我が家です  
・決めつけは しないで互いに 助け合い  
ミントパバ  
あいゆう

○リーブラ・みなと賞  
妻母の3役は 重役なり  
まり

☆ジュニア賞  
日替わりで 家事どうばんが  
わがやりゆう  
森山ひかる

## 2. リーブラ・フェスティバル2013（2/9〔土〕・10〔日〕） 開催間近



リーブラフェスティバル2013の開催が近づいて参りました。前回、テーマをお知らせいたしましたが、すでに出展団体や内容も確定し、区内外にてプログラムの配布を行っております。ご覧いただけましたでしょうか。

今年も、この1年間の活動成果を発表するために、出展団体は準備を進めています。さまざまな文化・芸術に触れることのできるチャンスです。ぜひ、お誘いあわせの上、ご来館ください。

- 【1日目】 2月9日（土） 10:00 ~ 18:00 （展示は16時まで）
- 【2日目】 2月10日（日） 10:00 ~ 16:00

← 出展団体の情報については、プログラムをご覧ください（赤い字で書かれた「リーブラフェスティバル2013」が目印です）。プログラムは、区内公共施設・都内男女平等参画関連施設などに配架してあります。

●電子版も● こちらのページより、ダウンロードが可能です。  
<http://www.minatolibra.jp/kouza/index.html#130209>

掲載した講座などのくわしい情報は、ホームページで。

リーブ

検索

### 3. 講座開催案内（リーブラ主催講座）

## 今から備える、介護時代 ～会社と社員の未来のために～



約14万5千人。毎年、介護を理由に退職する方の数です（内閣府「平成23年版 高齢社会白書」）。

介護をしながら働くことの難しさ、そして担い手の方自身の老後や将来の生活への影響も懸念されています。

介護の特徴を学びながら、労働者自身、そして会社の安定した未来を今から考えてみませんか。

- 講師：大西 徳雪 さん  
（㈱セントワークス代表取締役社長）
- 日時：2月28日（木）15：00～17：00
- 会場：リーブラ 4階 学習室C
- 対象：区内企業の総務・人事関連担当者、介護と仕事との両立など、本講座に関連する項目に関心のある方
- 定員：40名〔要予約・先着順〕
- 参加費：無料
- 申込：現在受付中 電話、FAX、メール、リーブラ3階受付窓口にて受付（先着順）。
- 保育：4ヶ月以上未就学児対象。2月14日（木）までに要申込。

## これで安心！ シングルライフを生き抜く知恵 ～楽しく生きて、しっかり備える～

未婚化・晩婚化が進み、シングルで老後を迎える方が増えています。シングルライフを安心して、楽しく、自分らしく生き生きと過ごすため「病気」「介護」「住まい」「お金」など、さまざまな心配事に対する準備や心がまえについて学びます。

また、自分自身の人生の価値観をみつめなおし、いざという時に備えて、自分が遺したいものなどを整理をしておきませんか？

シングルで生き抜く知恵と力が身につく、元気がでる講座です！

- 講師：松原 惇子 さん  
（NPO法人SSSネットワーク代表）
- 日時：3月14日（木）19：00～21：00
- 会場：リーブラ 4階 学習室A
- 対象：主に30代～40代の女性  
テーマに関心がある方
- 定員：30名〔要予約・先着順〕
- 参加費：無料
- 申込：メール、電話、FAX、  
リーブラ3階受付窓口にて  
受付（先着順）。



### 4. 講座実施報告（リーブラ主催講座）

#### 第3回 リーブラ特別展示・女性に対する暴力 をなくすために 私たちにできること

- 実施日：2012年11月15日（木）～28日（水）



今年の展示は7団体（2団体が初参加）が参加しました。どの団体も「女性に対する暴力根絶」や「パープルリボン」の趣旨を自分たちの視点でとらえ、作品を制作し、メッセージを発信しました。リーブラ来館者が気軽に会場に入り、押し花絵やカリグラフィ、手芸作品を楽しむ姿がみられました。

#### ふらっとリーブラ11月 リーブラカフェ&おしゃべり会with弁護士さん

- カフェ開催日：2012年11月21日（水）
- カフェ参加人数：昼・2名 夜・3名

一般参加者に加え、弁護士が昼夜あわせて15人以上参加し、参考資料の映像をみながら、「女性に対する暴力根絶」について考え、お話をしました。スクールセクハラについて初めて知った方、家庭内暴力の子供の立場からの被害など、新たな視点に気づいたという感想もあがり、意義深い時間となりました。

#### 仕事と子育て両立ナビ

- 実施日：2012年11月17日（土）  
13：30～16：00
- 参加人数：30名

来年度から保育園にお子さんを預けて仕事に復帰する方や再就職する方を対象に、保育園の入園の基本情報と子育てしながら働くためのコツ、家族との協力のしかたなどを学ぶ講座を実施しました。

受付開始から多数の申し込みをいただき、定員を超えても申込を受付しました。0歳児同伴参加も受付をし、当日は10名前後の方が0歳児同伴で参加し、保育は7名のお子さんが利用しました。

まず保育園事情に詳しい「保育園を考える親の会」代表の普光院さんの話を聞き、入園のための手続き、園生活の様子、仕事と子育てを両立するための工夫や家電の利用、子どもが病気のときの乗り切り方を伺いました。

その後は、区内在住の先輩ママお二人から、それぞれ保育園入園までの苦労、仕事に復帰してからのノウハウをお聞きしました。残業があるときどのように乗り切るか、便利な家電、サービスの紹介など、具体的、実践的なアドバイスが満載でした。

後半は、参加者がグループに分かれ、講師やリーブラのコーディネーターが各グループに入り、個別の質問や相談に回答するという形で行いました。時間ギリギリまで質問が続き、盛会のうちに終了しました。

同じ悩みをもつ方たちで話をするのができ、とても良かったという感想が多く、好評でした。



## 4. 講座実施報告（リーブラ主催講座）

### 「パパは世界で一番すてきな仕事！」 （3回連続講座）

- 実施日：2012年10月28日（日）、11月11日（日）、11月25日（日）
- 参加人数：第1回8名、第2回6名、第3回14名（第3回単独参加者を含む）
- 講師：第1回・第2回は永田陽子さん、第3回は滝村雅晴さん

子育て中の男性向け講座として、3回連続講座を実施しました。3回連続講座は、申込受付開始日の午前10時30分に、つまり1時間半後には定員10名に達し、リーブラのスタッフをびっくりさせました。

第1回と第2回は、カナダの子育て支援メソッド「Nobody's Perfect」を基に講義と話し合いにより、子どもの発達、子育てのコツ、夫婦の関係性の重要性を学びました。特に子どもの自我が芽生える2～3歳の時、どのように子どもに言葉かけをするかに参加者の関心が集まりました。



父親同士の交流も活発に行われました。手作りおもちゃを使った遊びも、好評でした。第3回の料理講座については、右記をお読みください。

### 「パパが作ろう！おいしいランチ」

- 実施日：2012年11月25日（日）
- 参加人数：16名
- 講師：滝村雅晴さん

「パパは世界で一番すてきな仕事！」講座の参加者と、別途募集をして料理講座のみ参加の方も受付をしました。講師自身も子育て中の父親であり、パパが作りやすい料理を教える「パパ料理研究家」。包丁の持ち方、野菜の切り方など、基礎的なところから丁寧に講義、実演をされました。「食べてくれる家族がいるからこそ、おいしい料理を作りたいとがんばれる」という講師の話に参加者の方々もうなずいていました。



参加者16名中13名は保育利用者だったため、料理が出来上がった後に親子でなごやかに食事をすることができ、隣同士の親子で会話が生まれていました。ふだんは家では食べない野菜を子どもが食べてくれたり、講師が仕事中心の生活から家庭を大事にする生活へ変わっていったきっかけを話すなど、料理以外にも収穫の多い講座になったようでした。



## 4. 講座実施報告（活動助成事業・団体育成事業）

### 劣化ウラン廃絶 みなとネットワーク主催 古居みずえ写真展 「瓦礫の中の女たち」とお話し会

- 実施日：10月14～28日
- リーブラ3階廊下で、古居みずえ写真展「瓦礫の中の女たち」の写真30点を展示した。古居さんの写真は白黒写真。人権無視の衝撃的な状況を写し出す写真は、私たちの瞳に、心に飛び込んできた。廊下に立ち止まってみている人、期間中、何回も見にやってきました人もいた。しかし、写真など目に入らないのか通り過ぎる人などそれぞれ。衝撃的な写真を直視できない人もいたのではと思う。

ガザ攻撃を受けて、家屋が倒壊した場所に放心状態で座り込む少女、行く先を鉄条網に阻まれ途方にくれる女たち。緊迫した現場で少年が老婆の手を引く。伝統刺繍をする女たち。きびしい日常の女たちの姿を、女性ならではの視点で鋭く切り取った写真は、私たちの真実を見て欲しいと訴えていた。その思いを真剣に捉えることが人として当たり前なことなのだと思う。アンケートには、非戦同感ですと書かれていた。男女平等は非戦から・非戦は男女平等からの視点をますます強く持ってこれからも企画していきたい。（宮口高枝）

### NPO法人ヒューマンサービスセンター主催 ダンス/ムーブメント・セラピー ワークショップ 「私に触れる・私を解き放す」

- 講師：カムラ・アツコ（ダンス・ムーブメント・セラピスト）
  - 実施日 10月22日・29日
  - 参加人数（第1回）12名（第2回）10名
- カムラさんのダンスセラピーは、自分の新たな面や可能性に気づくことができる魅力的なワークショップである。カラフルなボールが回ってきて、自己紹介し、各人が心身の調子や、当日やりたいこと、やりたくないことを話す。身体ほぐしは、右半身だけを充分にした後、仰向けで寝て、右と左の感覚の違いを感じる。右に合わせ、自分で左半身をほぐす。意識しないうちに色々な動きを自分で作っていくのが新鮮だった。縦横無尽に歩き回り、身体の一部をすれ違った人とタッチするワークも楽しかった。極めつけは、絵はがきや布、羽根などのオブジェクトを使い、会場内に自分の好きな空間を作ること。全員のスペースを訪問し、それを味わい、動きにした。ためらうことも遠慮することもなく、みんなのやさしさと温かさを感じ取ることができ、広い床も、高い天井の空間も、12人の女性たちの出す充実したエネルギーで満たされた。（深澤純子）

### GAP・大崎麻子さん企画・主催 「グローバル・スタンダードから見た日本～女性は日本経済の救世主なのか？～」

- 講師：野村浩子さん（日経マネー副編集長）、目黒依子さん（GAP）、大崎麻子さん（GAP）
- 日時：11月30日（金）
- 参加人数：53名



世界経済フォーラムの男女格差指数で日本が101位とさらに順位を落としたことを皮切りに、日本社会でなかなかジェンダー平等が進まない現状をレポートし、改善策を講師それぞれの立場から講義しました。

現在の日本の社会保障制度、政策が、女性の活用を前提にしている。講師間のディスカッションでもその問題点が改めて浮き彫りになりました。

学生、研究者、自治体関係者等、ふだんリーブラにはあまり見られない層の参加者も多く、充実した講座となりました。

## 5. 男女共同参画週間記念フォーラム2013

前号で開催日をお知らせした、男女共同参画週間記念フォーラム2013(6/29(土)・30(日)開催)に、関連する情報を皆さまにお知らせいたします。

### ●テーマの決定

企画運営委員会で検討し、テーマを決定しました。

#### 【メインテーマ】

「“私”がひらく現在・未来」(これまでと同じです)【サブテーマ】

「いのちを考え、支え、つながろう」

東日本大震災の被災地は、いまだ復興の途上にあり、将来に渡る放射能の被害も予測がつかない状況です。社会における人々や家族のつながりを考えさせられる出来事もあります。生命の大切さ・尊さを考え、支え合い、仲間や地域で助け合い、より良い社会、男女平等参画社会を作っていくという思いを込めたテーマです。

### ●出展企画の募集について

当センターに男女平等推進団体として登録いただいた団体より出展企画案の応募を受け付けています。

なお、本企画の募集に関する応募要項と企画申請書はインターネットからもダウンロードが可能です。ご記入いただいた書類をEメールでも受け付けておりますので、パソコンで申請書類を作成された方でメールでの提出をご希望の方は、当センター宛に(libra@career-rise.co.jp)にご提出下さい。

【応募締切】2月11日(月・祝) 17時

## 6. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

職場のいじめ・嫌がらせが社会的な問題として顕在化してきています。厚生労働省では、これらの行為を「職場のパワーハラスメント」と呼んで、社会に注意を喚起し、職場のパワーハラスメント予防・解決に向けたポータルサイト「あかるい職場応援団」を開設しました。サイトには、部下への厳しい注意指導が裁判ではどのように扱われるか判例解説も掲載されています。リーブラ相談室にも、職場でのいじめや嫌がらせを受けているという相談が増加しています。リーブラでは、仕事帰りにもご相談できる夜間相談や、月1回法律相談も開設しています。ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

### ◆女性弁護士による法律相談(月1回)

法律相談は、港区在住・在勤・在学の方で、リーブラの一般相談(面談)をご利用されている方にご利用いただけます。ご希望によりカウンセラーが同席したり、法律相談後、フォロー相談を行うことも可能です。

### ◆一般相談 開室曜日・開室時間

火曜日 16:00~20:00

水曜日 10:00~16:00

金曜日 10:00~16:00、18:00~21:00

一般相談は、どのようなご相談も受け付けています。

相談は無料。面接相談はご予約ください。

電話相談も可能です。ご相談もご予約も上記の利用時間内に専用電話にてお願いします。

☎03-3456-5771(相談室専用電話)

## 7. 男女平等参画情報 ~マイノリティの存在~

アメリカのアカデミー賞の前哨戦とも言われ、映画やテレビドラマの作品や出演者を表彰するゴールデングローブ賞の第70回授賞式が、今月13日にロサンゼルスで行われました。長年にわたり映画界に貢献した人物に贈られるセシル・B・デミル賞を受賞したのは、子役時代から活躍し、『告発の行方』(1989年)と『羊たちの沈黙』(1991年)でアカデミー主演女優賞を獲得したジョディ・フォスターさんでした。今回の授賞スピーチの中でフォスターさんは同性愛者であることを告白し、会場からは大きな拍手が送られたそうです。それまで明らかにしていなかった出自や性的指向などを告白することをカミングアウトと言いますが、著名人によるカミングアウトは、孤独感や絶望感を抱える様々な立場のマイノリティ(少数者)を励ます効果もあります。

2010年に策定された第3次男女共同参画基本計画の第8分野「高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備」の中では、「性的指向や性同一性障害を理由とする差別や偏見の解消を目指す」ことがうたわれ、セクシュアル・マイノリティの問題は男女共同参画の課題の一つとして位置づけられています。セクシュアル・マイノリティ当事者や家族によるネットワークや相談窓口、講演や関連書籍の出版なども広まってきていますが、情報が届かなかつたり、身近な人に受け入れられないなどの悩みを抱える人も大勢存在しています。カミングアウトしていなくても、身近なところに様々なマイノリティが存在するかもしれないとの意識を持つことが、お互いの多様性を認め合える、誰もが生きやすい社会への第一歩となるのではないのでしょうか。リーブラの図書資料室では、セクシュアル・マイノリティに関する書籍やDVDなどを所蔵していますので、ぜひご活用ください。

●休館日情報● 2月3日(日)は施設設備点検のため休館となります。建物に入れません。ご了承下さい。



男女平等参画センター「リーブラ」3~5階

発行元	港区立男女平等参画センター(リーブラ)
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
ホームページ	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月~土曜日 9:00~21:30 日曜日 9:00~17:00 *祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月~土曜日 9:00~20:00 日曜日 9:00~16:00

発行日:2013(平成25)年1月20日